

安全登山委員会「山仲間のセルフレスキューを学ぶ」講習会報告

2018年2月25日(日)に埼玉支部安全登山委員会主催で、テーマ『山仲間のセルフレスキューを学ぶ』の講習会が開催された。参加者は、講師を含む19名(支部員9名、JAC会員2名、一般8名)が集まった。講習内容は午前と午後の部に分かれ、午前の部は「山で起こりやすいケガの応急手当」と題し、恵秀彦講師からパワーポイントの映像説明や3班に分かれて事故事例に基づき、足や手のケガのテーピングやサムスプリントを用いた応急手当を全員実習した。午後の部は、「一次救命処置」を渡邊浩講師から説明を受け、8体の模擬人形を利用し、2人一組で胸骨圧迫とAED利用の心電図解析を体験する。ほかに傷病者の異物除去の方法も学んだ。

